

群馬県立高崎工業高等学校 学校評価一覧表① (令和4年度版)

(様式1)

羅 針 盤			方 策	第1回点検・評価			第2回点検・評価		
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等	改善策	自己評価	外部アンケート等	改善策
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 工業高校として特色ある教育活動を行っていますか。	1) 各学科・教科の編成するカリキュラムや実習・課題研究の取組について、80%以上の生徒が満足している。	○生徒の実態と進路選択に合致したカリキュラムの編成や、幅広い選択科目を設定する。 ○課題研究や実験・実習において、各学科の特徴を活かすために各種競技会等に参加し、学習成果発表会を実施する。 ○学科間を横断する指導体制を整え、効率的な指導を行う。 ○生徒の進路選択に対応した資格について指導・助言する。 ○職員研修を実施し、職員の資質向上に努めるとともに、新学習指導要領に即した授業や教材内容等を精選する。 ○全職員対象の授業参観・教員相互の公開研究授業を実施する。 ○生徒の理解度や実態に即した指導を行う。 ○授業アンケート等を活用し、生徒の実態把握に努め、指導内容の改善に生かす。 ○生徒の自主性を尊重し、生徒同士で話し合いが進められるよう指導・助言を行う。 ○3年生全員が学習成果発表会で各々の研究発表を行う。 ○定例の職員会議や学年会議・科会議等で情報を交換し共有する。 ○全職員で協力し、朝の玄関前挨拶指導・校門前指導を行う。 ○職員が継続的に授業や廊下等で声かけ等を行い、生徒自ら挨拶できるよう働きかける。 ○教育相談会議などで、情報交換を図る。 ○スクールカウンセラーの活用を生徒・保護者・職員に周知する。 ○学期ごとに生活アンケートを実施する。 ○スクールカウンセラーによる「こころの教育事業(講演会)」を各学年に実施し、良好な人間関係作りを努める。 ○「いじめ防止基本方針」に基づき、いじめ防止に向けた取組を計画的に行う。 ○全職員を部活動に配置し、互いに協力して積極的に指導する。 ○雨天時のカッパ着用指導や自転車マナー指導、ヘルメット着用指導を定期的に全職員で協力して実施する。 ○生徒の成長や進路意識に応じたガイダンスや講話などを計画的に実施する。 ○PTA・同窓会の協力による模擬面接会を実施する。 ○希望する企業や進学先について生徒が自ら研究できるよう指導・助言をする。 ○PTAの諸行事は、感染対策を徹底し、分散開催にて実施する。 ○各部活動や委員会等で、地区の行事に参加・協力をする。 ○HPを頻繁に更新し、学校の情報を発信する。 ○ICT機器を用いて、生徒の活用能力の把握に努め、新学習指導要領に即した授業等における課題配信や採点など活用方法の改善を進める。 ○ICT機器を用いて、各種アンケートや学習状況調査等を実施する。	○生徒の実態と進路選択に合致したカリキュラムの編成や、幅広い選択科目を設定する。	生徒93%	満足度を高められるよう、生徒の実態に即したカリキュラムを精選する。	A	生徒94%	令和4年度入学生の教育課程を1年間終え、生徒の進路選択に見合うカリキュラムになっているか、検証していく。
		2) 学校生活が充実していると感じている生徒の割合は、80%以上である。		○課題研究や実験・実習において、各学科の特徴を活かすために各種競技会等に参加し、学習成果発表会を実施する。	生徒91%	課題研究や実習等で、各学科の特性を生かした授業を、引き続き継続する。	A	生徒92%	各種競技会への参加や学習成果発表の場を今後も積極的に設け、課題研究・実習の授業を充実させていく。
	2 資格取得や検定試験に向けた適切な指導を行っていますか。	3) 生徒が資格取得等に積極的に取り組み、90%以上の生徒が1つ以上の資格を有し、1回以上検定試験を受験している。		○学科間を横断する指導体制を整え、効率的な指導を行う。 ○生徒の進路選択に対応した資格について指導・助言する。	生徒74%	評価Cを付けたのは目標値より20%近く低いためである。生徒が資格取得により意欲的に取り組めるよう、指導をさらに工夫する。	C	生徒79% 保護者83%	多くの生徒が資格取得に取り組んでいるが、方策に上げた学科間を横断する指導体制をさらに強化し、生徒の資格取得を支援する。
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	3 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	4) 授業改善委員会の開催や、校長授業参観及び教員相互の研究授業を年複数回実施し、全職員が授業改善に取り組んでいる。	○職員研修を実施し、職員の資質向上に努めるとともに、新学習指導要領に即した授業や教材内容等を精選する。 ○全職員対象の授業参観・教員相互の公開研究授業を実施する。	生徒91% 保護者78%	昨年度より保護者のアンケート結果に向上がみられる。保護者への情報発信方法を工夫するとともに、新学習指導要領に即した授業や教材内容等を精選していく。	職員97%	生徒90% 保護者74%	職員としては指導と評価の一体化などに取り組んでいるが、保護者への認知が不十分である。生徒・保護者へのフィードバックを的確に行い、周知に努める。	
		4 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	5) 専門教科と普通教科をバランスよく学び、基礎学力を向上させることで80%以上の生徒が学習に対し達成感や満足感を持っている。	○生徒の理解度や実態に即した指導を行う。 ○授業アンケート等を活用し、生徒の実態把握に努め、指導内容の改善に生かす。	生徒85%	資格取得、進学・公務員補習等を活用することで、学力の向上をより一層、推し進める。	B	生徒84%	一定数の生徒は学習に対して満足していない状態である。生徒への授業アンケートを学校全体で行い、生徒の実態把握に努める。
	5 生徒の学び合いの充実に重点を置いた指導を行っていますか。	6) 自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、相手の意見に耳を傾け、仲間と協力し合っている生徒が80%以上である。	○生徒の自主性を尊重し、生徒同士で話し合いが進められるよう指導・助言を行う。 ○3年生全員が学習成果発表会で各々の研究発表を行う。	生徒88% 保護者82%	引き続き授業や発表会等、生徒が自発的に発言できるようなきっかけを与え、発言機会を増やしていく。	B	生徒90% 保護者80%	3年生では課題研究で発表の機会はあるが、他学年の授業でも話し合いや発表等を計画して行き、協力して活動する場面を設ける。	
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	6 組織的・継続的な指導を行っていますか。	7) 職員会議や学年会議・科会議等において、生徒に関する情報交換を月3回以上行っている。	○定例の職員会議や学年会議・科会議等で情報を交換し共有する。	職員77%	引き続き定期的な情報交換を行い、生徒の指導に役立てる。	職員79%	—	教育相談とも連携し、各学年・教科を含め、学校全体で生徒を指導・支援できるよう、体制を整える。	
		8) 職員や来校者に積極的に挨拶ができる生徒が80%以上である。	○全職員で協力し、朝の玄関前挨拶指導・校門前指導を行う。 ○職員が継続的に授業や廊下等で声かけ等を行い、生徒自ら挨拶できるよう働きかける。	職員93%	生徒96%	校門前、玄関前指導を継続するとともに、校内での声かけを実施し、生徒の意識改善をさらに促す。	職員90%	生徒94%	アンケート結果は第1回に比べて少し低い割合になった。ホームルームや部活動など校内での生徒への挨拶の呼びかけや指導を徹底する。
	7 いじめの発生防止及び早期対処に努めていますか。	9) 教育相談係やスクールカウンセラーを活用しやすい環境を整えることで、いじめの未然防止と早期対処に努め、いじめの解消率が100%である。	○教育相談会議などで、情報交換を図る。 ○スクールカウンセラーの活用を生徒・保護者・職員に周知する。 ○学期ごとに生活アンケートを実施する。 ○スクールカウンセラーによる「こころの教育事業(講演会)」を各学年に実施し、良好な人間関係作りを努める。 ○「いじめ防止基本方針」に基づき、いじめ防止に向けた取組を計画的に行う。	生徒87% 保護者75%	スクールカウンセラーの周知は進んでいるので、教育相談係で利用促進に向けて情報発信を工夫していき、未然防止と早期対処につなげる。	B	生徒100% 保護者60%	生徒と保護者の認識に大きな差がある。いじめの未然防止や早期対処についても保護者と連携を密にし、協力体制を整えていくことが必要である。	
		10) 「いじめ防止基本方針」について、80%以上の生徒、保護者が理解している。	○「いじめ防止基本方針」に基づき、いじめ防止に向けた取組を計画的に行う。	生徒59% 保護者44%	理解度の向上に向けて、引き続き情報発信等を含め取り組みを工夫していく。	D	生徒59% 保護者42%	「いじめ基本方針」についてホームページに掲載しているが、改めへ生徒・保護者への説明の機会を設ける。	
8 生徒は健康で規則正しい学校生活を送っていますか。	11 生徒は健康で規則正しい学校生活を送っていますか。	11) 部活動に加入している生徒のうちの80%以上が、意欲的に活動している。	○全職員を部活動に配置し、互いに協力して積極的に指導する。	職員98%	生徒78% 保護者82%	生徒が意欲的に取り組めるように、継続して指導を行う。	職員91%	生徒75% 保護者77%	職員と生徒との認識の差が大きい。より一層、生徒が意欲的に活動できているかという視点で指導・支援に当たる。
		12) 生徒の安全な登下校のために、交通指導を定期的に行っている。	○雨天時のカッパ着用指導や自転車マナー指導、ヘルメット着用指導を定期的に全職員で協力して実施する。	職員98%	生徒78% 保護者82%	引き続き雨天時指導、ヘルメット着用指導を行う。	A	—	定期的な指導を行っているが、ヘルメットの着用率の向上や交通事故件数の減少につながるよう、取り組みを徹底する。
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	9 計画的な進路指導を行っていますか。	13) 進路関係の行事やガイダンスを年5回以上実施する。	○生徒の成長や進路意識に応じたガイダンスや講話などを計画的に実施する。	職員98%	生徒78% 保護者82%	生徒が意欲的に取り組めるように、継続して指導を行う。	職員91%	生徒75% 保護者77%	年間を通して十分な回数の進路行事を行っている。今後は、生徒の進路実現にどのくらい参考になったかなどを参考に、内容を精選していく。
		10 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	14) 自分の進路について真剣に考え、その実現のために努力している生徒が80%以上である。	○PTA・同窓会の協力による模擬面接会を実施する。 ○希望する企業や進学先について生徒が自ら研究できるよう指導・助言をする。	B	生徒86% 保護者83%	昨年度より大幅に向上している。感染対策を講じて、就業体験や各種講話を実施するとともに、進路意識を高められるよう指導・助言していく。	B	生徒83% 保護者77%
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	11 家庭・地域社会に積極的に情報発信していますか。	15) PTAの諸行事に、50%以上の保護者が参加している。	○PTAの諸行事は、感染対策を徹底し、分散開催にて実施する。	A	保護者83%	保護者への授業公開等を分散開催にし、概ね目標は達成している。	A	保護者74%	PTA総会では書面表決にするなど工夫をして行った。引き続きPTA行事への参加を促していきたい。
		16) 地域への貢献活動を年3回以上実施し、HPでの情報発信を月1回以上、PTA会報の発行を年2回行っている。	○各部活動や委員会等で、地区の行事に参加・協力をする。 ○HPを頻繁に更新し、学校の情報を発信する。	A	—	地域への貢献活動も再開できている。引き続き閲覧者が利用しやすいHPに更新するとともに、適確に情報を発信していく。	A	—	引き続き情報発信と地区の行事への参加・協力を行い、開かれた学校づくりに努める。
VI 教育のデジタル化に努めていますか。	12 ICTを活用した指導を行っていますか。	17) ICT機器を用いた授業等の取り組みについて、80%以上の生徒が満足している。	○ICT機器を用いて、生徒の活用能力の把握に努め、新学習指導要領に即した授業等における課題配信や採点など活用方法の改善を進める。 ○ICT機器を用いて、各種アンケートや学習状況調査等を実施する。	B	生徒86%	引き続きICT機器の活用方法の工夫と改善を進める。	B	生徒85%	ICT機器の授業への取り組みは、生徒の実態を把握し、授業者がフィードバックを受けて適切な活用ができるよう改善していく。
		13 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	18) ICT機器を活用して、アンケート集計などの業務を学期ごとに3回以上行っている。	○ICT機器を用いて、各種アンケートや学習状況調査等を実施する。	職員100%	—	アンケート結果を精査し、引き続き業務改善につなげていく	A	—